

DENON

日本コロムビア株式会社

本社 〒107-11 東京都港区赤坂4-14-14

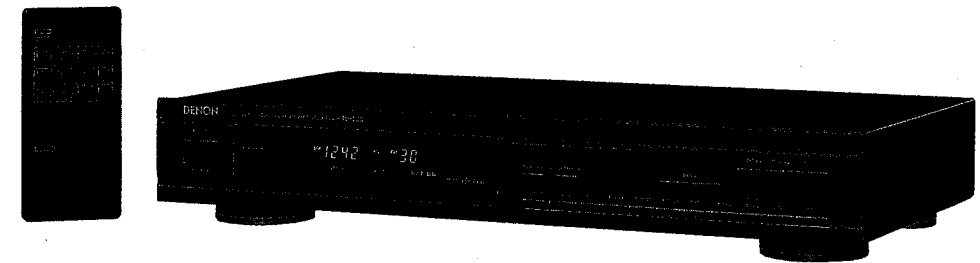
TEL 03(3584)8111(大代表)

DENON

AM-FM STEREO TUNER

AM-FM ステレオチューナー

TU-280



取扱説明書 目次

1 主な特長	2	8 リモートコントロールユニット(リモコン)について	
2 このセットを安全にご使用いただくためのご注意	3	■ 電池の入れかた	12
3 ご使用になる前に	4	■ リモコンの使いかた	12
4 設置上のご注意	4	■ リモコン各部の名称とはたらき	13
5 接続のしかた		9 ラジオ放送の聞きかた	
■ 出力端子の接続	5	■ 選局のしかた	14~15
6 アンテナの接続		■ FM/AM放送のプリセットのしかた	16
■ 付属アンテナのつなぎかた	6	■ プリセットした放送の聞きかた	17
■ 屋外アンテナのつなぎかた	7	10 故障かな?と思ったら	18
7 各部の名称とはたらき	8~11	11 保証とサービスについて	18
		12 主な仕様	19

梱包箱の中には本体とは別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

① 取扱説明書	1
② 保証書	1
③ サービス網一覧表	1
④ 接続コード(音声用ピンコード)	1
⑤ FM T型簡易アンテナ	1
⑥ AM用ループアンテナ	1
⑦ リモコン(RC-126)	1
⑧ R03(単4形)乾電池	2

後日のために記入しておいてください。

購入店名: _____ 電話(_____)

ご購入年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

■ お買い上げいただき、ありがとうございます。
 ■ 本機の特長を十分に発揮してご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい操作で末永くご愛用くださいますようお願いいたします。なお、万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときのために、お読みになったあと必ず保存してください。

1 主な特長

■ AM/FMランダム30局プリセットチューナー

ランダムプリセットで使いやすくFM多局化に対応。

■ AMステレオ放送対応

AMステレオ復調回路を内蔵し、臨場感あるAMステレオ放送に対応。
(AMステレオ放送局であることが必要です。)

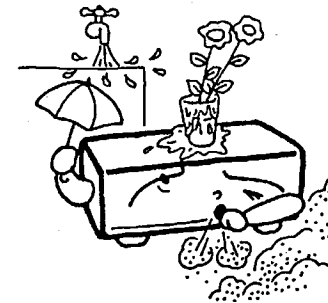
■ リモートコントロール機能

電源オン/スタンバイ、プリセットスキャン、プリセットチャンネル選局など豊富な機能を搭載。

2 このセットを安全にご使用いただくためのご注意

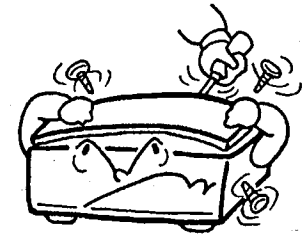
■ 湿気や水、ホコリは禁物

湿気やホコリの多い所に置かないでください。



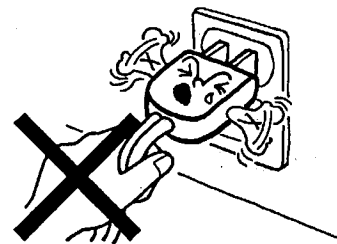
■ キャビネットは開けない

キャビネットの上カバーや底ぶたを開けて内部に手を入れると危険です。開けないでください。



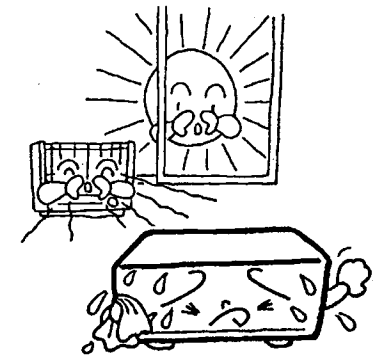
■ 電源コードは大切に

プラグを抜くときは、電源コードを引っばらないで、必ずプラグを持って抜いてください。



■ 高温にご注意

直射日光が当たる所や暖房器具の近くに置かないでください。

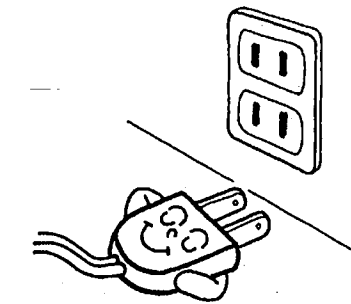


■ ラック内設置の注意

ラック内に設置するときはラック内に十分な開口部を設け放熱をおこなうようにしてください。

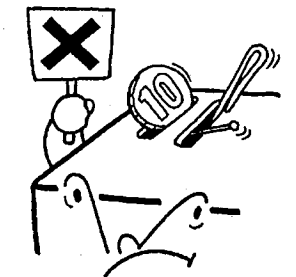
■ 留守にするとき

長時間の外出、旅行などでご使用にならないときは安全のため必ずプラグをコンセントから抜いてください。



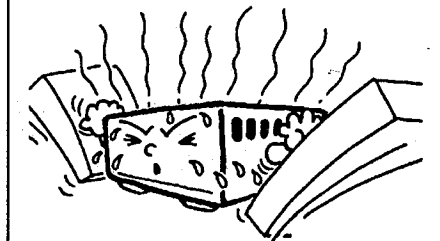
■ 内部に異物を入れない

針、ヘアピン、硬貨などを入れないでください。



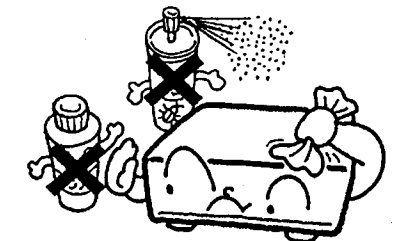
■ セットの通風孔をふさがない

セットの通風孔をふさぐと故障の原因になります。



■ キャビネットのお手入れ

汚れをふき取るときは、柔らかい布を使い、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。またベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などがキャビネットに付着すると変質したり変色する事がありますので使用は避けてください。



3 ご使用になる前に

ご使用になる前に、次のことにご注意ください

- セットの移動
セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防止するために、必ず電源プラグを抜き取り、他のオーディオ機器との接続コードを取りはずしてから移動させてください。
- 電源スイッチを入れる前に
各部の接続に間違いはないか、接続コードに異常はないか、今一度確認してください。接続コードを抜き差しする場合にも必ず電源スイッチを切った状態でおこなってください。
- テレビや他のオーディオ機器を、本機の近くに配置したり、それらの接続コードの近くにあるとハム音(ブーンという音)がでることがあります。このようなときには、機器の配置や接続コードの位置を変えてみてください。
- 取扱説明書を保存してください。
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保存してください。また、裏表紙の記入欄に必要事項を記入しておくとう便利です。
- 説明のためのイラストは原型と異なる場合があります。

4 設置上のご注意

- チューナーのアンテナ線は、他の機器の電源コードおよび入出力などの接続コードから離して設置してください。
- 近くにテレビがある場合、テレビによっては、ラジオ放送受信中に、雑音が入る場合があります。このような場合は、雑音が消えるまで、本機とテレビを離してください。

ステレオ音のエチケット

- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- 隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
- 窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

5 接続のしかた

出力端子の接続

付属の接続コード(音声用ピンコード)で、本機とプリメインアンプを接続します。

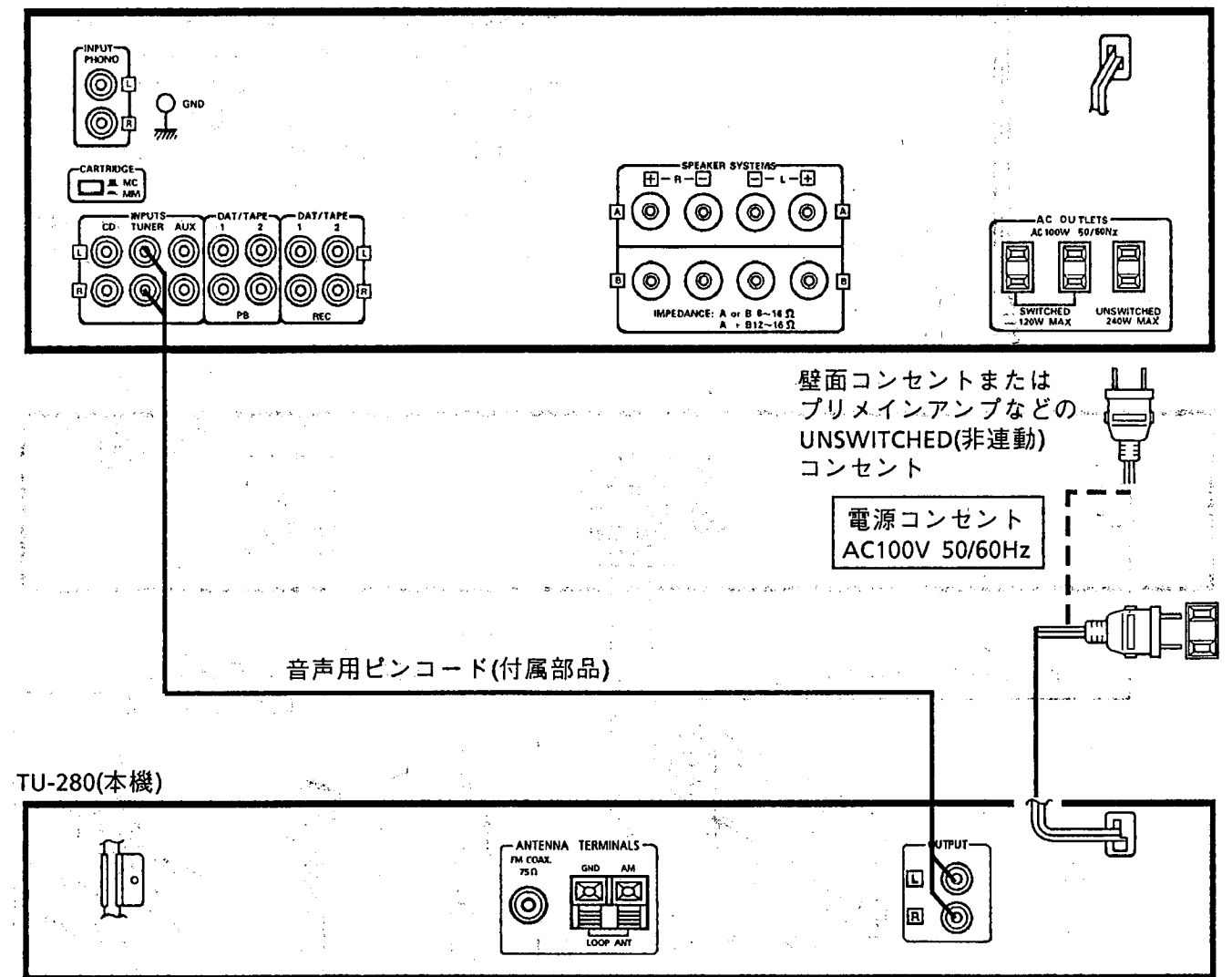
接続例

本機の出力端子(OUTPUT)の左(L)、右(R)と、プリメインアンプの入力端子(TUNER)の左(L)、右(R)に接続します。
図を参照してください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源コードはコンセントに差し込まないようにしてください。
- ピンプラグコードと電源コードをいっしょに束ねたり、電源トランスの近くにピンプラグコードを設置しますと、ハムや雑音の原因となることがありますからご注意ください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音発生の原因になります。

プリメインアンプ



ご注意

●本機には、AM放送受信用ループアンテナおよびFM放送受信用FM T型簡易アンテナが付属しています。正しく接続してご使用ください。

●放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。「屋外アンテナを立てる場所について」を良く読んで設置してください。

付属アンテナのつなぎかた

付属のアンテナを番号順に接続してください。

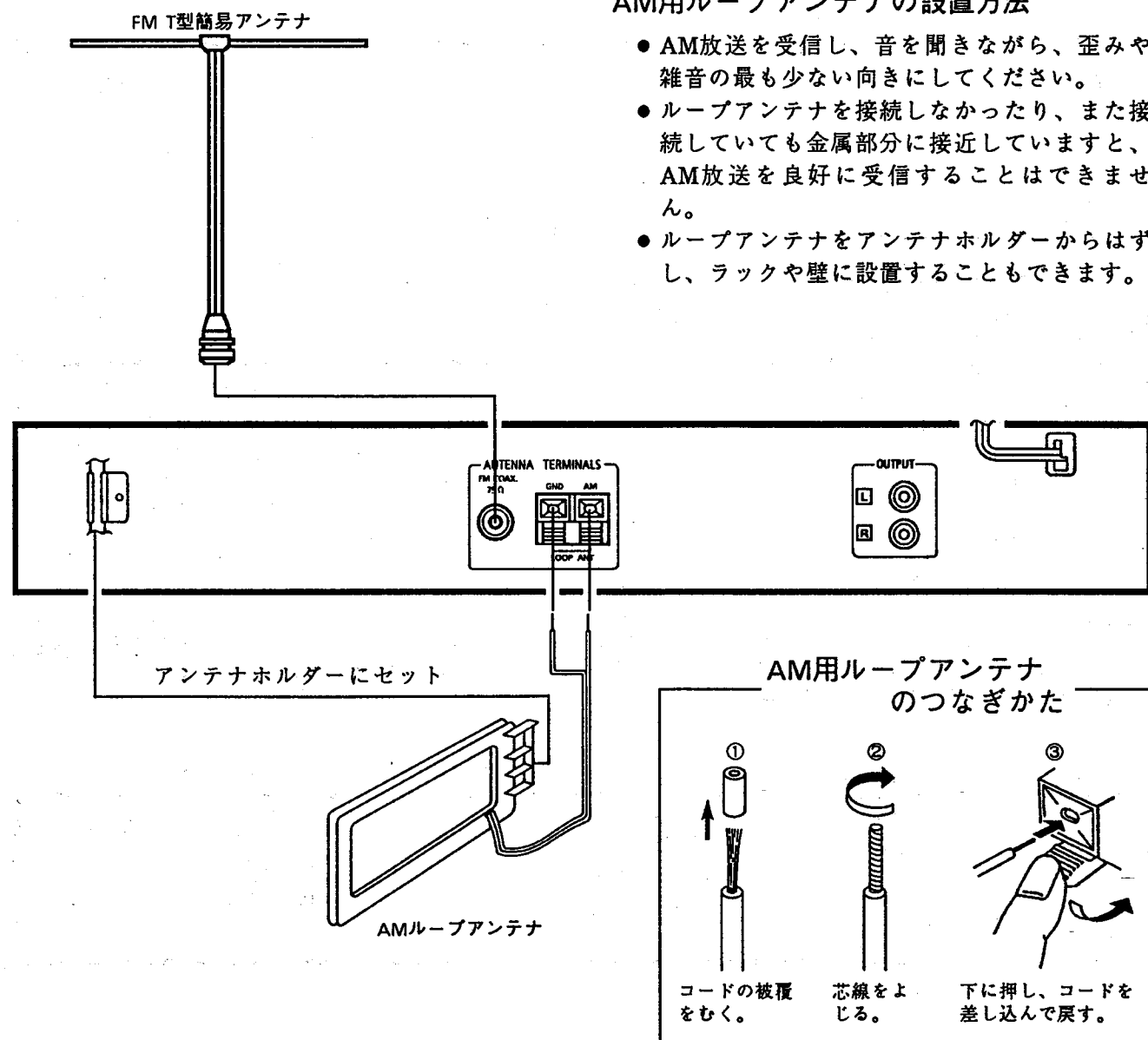
- 1 FM T型簡易アンテナをFM COAX(75Ω)端子に接続してください。
- 2 AM用ループアンテナをアンテナホルダーにセットし、LOOP ANT端子に接続してください。

FM T型簡易アンテナの固定方法

FM放送を受信し、音を聞きながら歪みや雑音の最も少ない位置に、アンテナの先端をテープや押しピンなどで固定してください。

AM用ループアンテナの設置方法

- AM放送を受信し、音を聞きながら、歪みや雑音の最も少ない向きにしてください。
- ループアンテナを接続しなかったり、また接続していても金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することはできません。
- ループアンテナをアンテナホルダーからはずし、ラックや壁に設置することもできます。



屋外アンテナのつなぎかた

ご注意

付属のアンテナで放送がきれいに聞こえないときは、必要な放送用の屋外アンテナを使います。アンテナを立てる場所、高さ、方向を変えて最もはっきりと受信できるように固定します。

屋外アンテナを立てる場所について

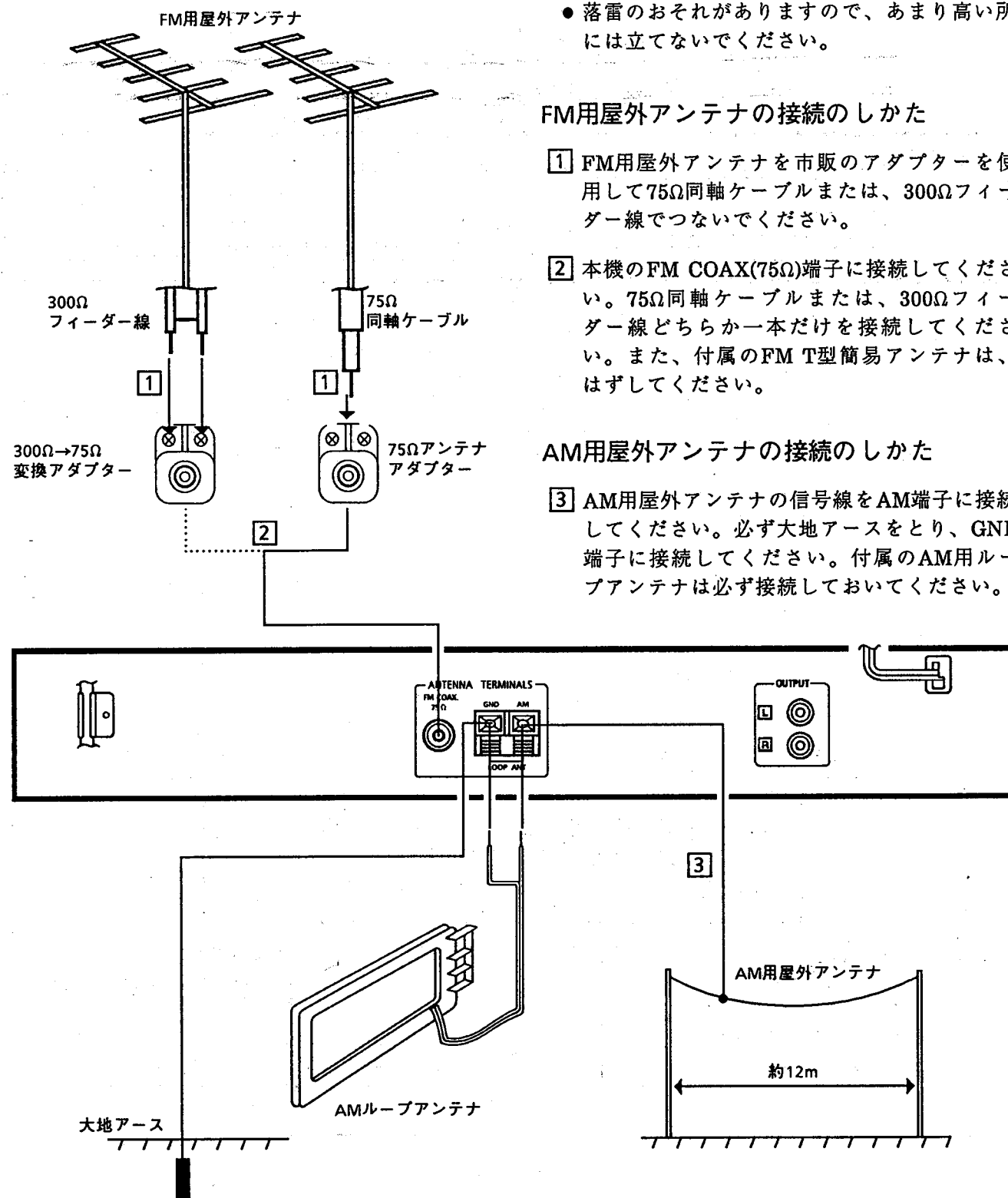
- 放送局の送信アンテナがある方向に立てます。ビルや山のかげなどでは、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。
- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所へ立ててください。
- 落雷のおそれがありますので、あまり高い所には立てないでください。

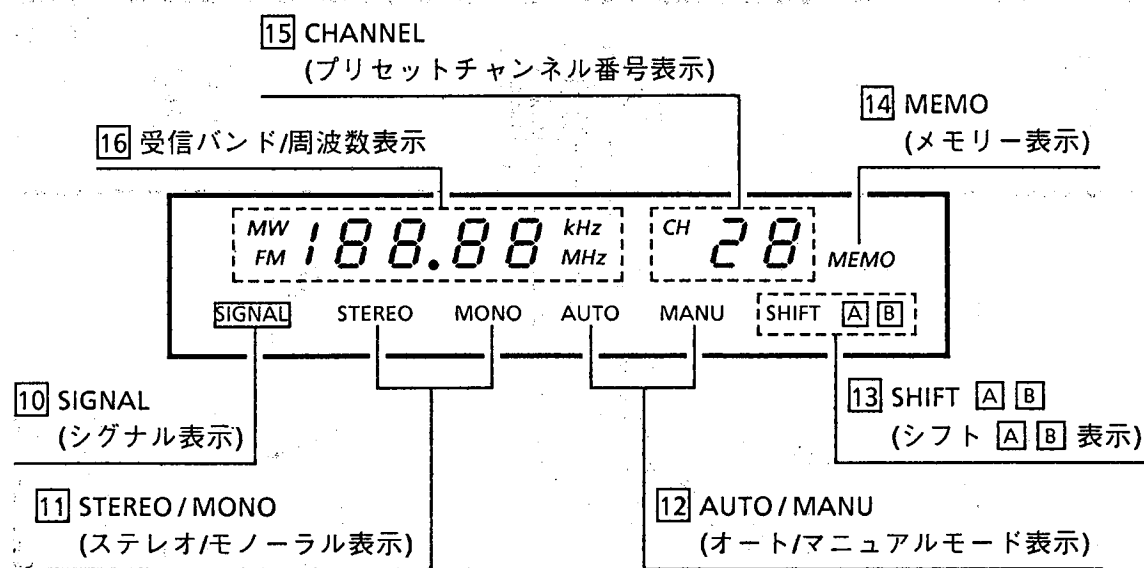
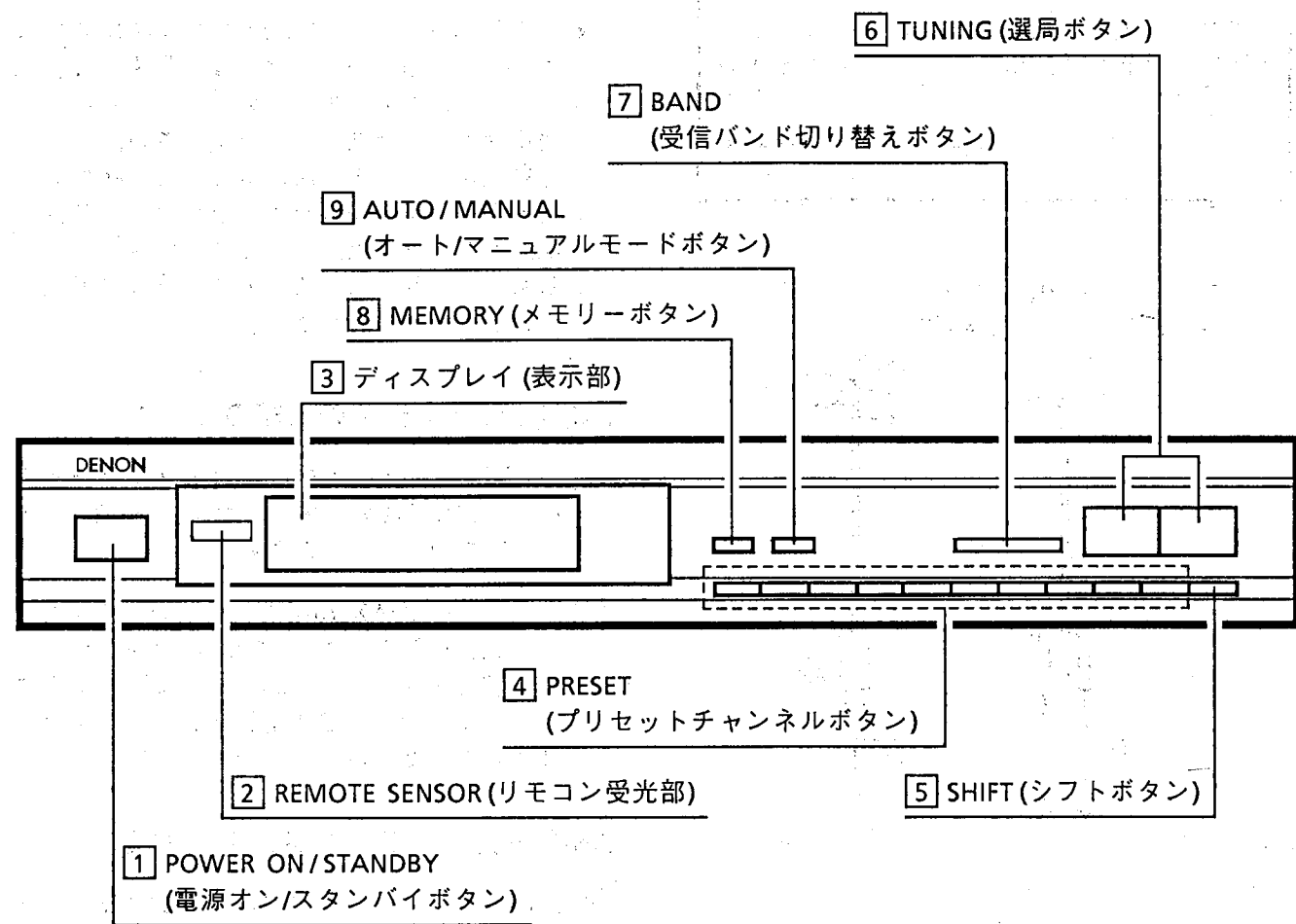
FM用屋外アンテナの接続のしかた

- 1 FM用屋外アンテナを市販のアダプターを使用して75Ω同軸ケーブルまたは、300Ωフィーダー線につないでください。
- 2 本機のFM COAX(75Ω)端子に接続してください。75Ω同軸ケーブルまたは、300Ωフィーダー線どちらか一本だけを接続してください。また、付属のFM T型簡易アンテナは、はずしてください。

AM用屋外アンテナの接続のしかた

- 3 AM用屋外アンテナの信号線をAM端子に接続してください。必ず大地アースをとり、GND端子に接続してください。付属のAM用ループアンテナは必ず接続しておいてください。





1 POWER ON/STANDBY (電源オン/スタンバイボタン)

押すと電源が入り、表示部が点灯します。数秒のミュート後にセットは正常動作になります。もう一度押すと電源が切れて、スタンバイ状態になり、表示部が消灯します。

2 REMOTE SENSOR (リモコン受光部)

ワイヤレスリモコンの受光部です。付属のリモコンRC-126で電源、受信バンド/周波数/モード/プリセットチャンネル呼び出しなどのリモートコントロールが可能です。

3 ディスプレイ (表示部)

セットの動作状態を表示します。(表示内容は 10~16 参照)

4 PRESET (プリセットチャンネルボタン)

受信バンドと周波数の記憶・呼び出しに使用します。FM/AM(MW)でランダムに合計30チャンネルをプリセットできます。シフトボタンとの組み合わせにより、下記のチャンネル番号のボタンになります。

- SHIFT [A] : 1~10チャンネル
- SHIFT [B] : 11~20チャンネル
- SHIFT [A] [B] : 21~30チャンネル

シフトボタンで希望のチャンネル範囲を選んだから、プリセットチャンネルボタンを押して選択します。チャンネル番号が表示部の 15 に表示されます。

5 SHIFT (シフトボタン)

上記プリセットチャンネルの範囲を選ぶときに使用します。押すごとに、SHIFT [A] → [B] → [A] [B] → [A] の順にくり返し切り替わり、表示部の 13 に表示されます。

6 TUNING (選局ボタン)

受信周波数を上げるときUP、下げるときDOWNのボタンを押し選局します。オート/マニュアルモードボタンにより、オート選局とマニュアル選局ができます。

オート選局 : 選局ボタンのUP(またはDOWN)を押すと、受信周波数が自動的に上昇(または下降)し、実入力レベル以上の電波を受信すると停止します。受信周波数が、上端FM: 90.00MHz / AM: 1629kHz (または下端FM: 76.00MHz / AM: 522kHz)まで変化すると、下端(または上端)に切り替わり上昇(または下降)し続けます。

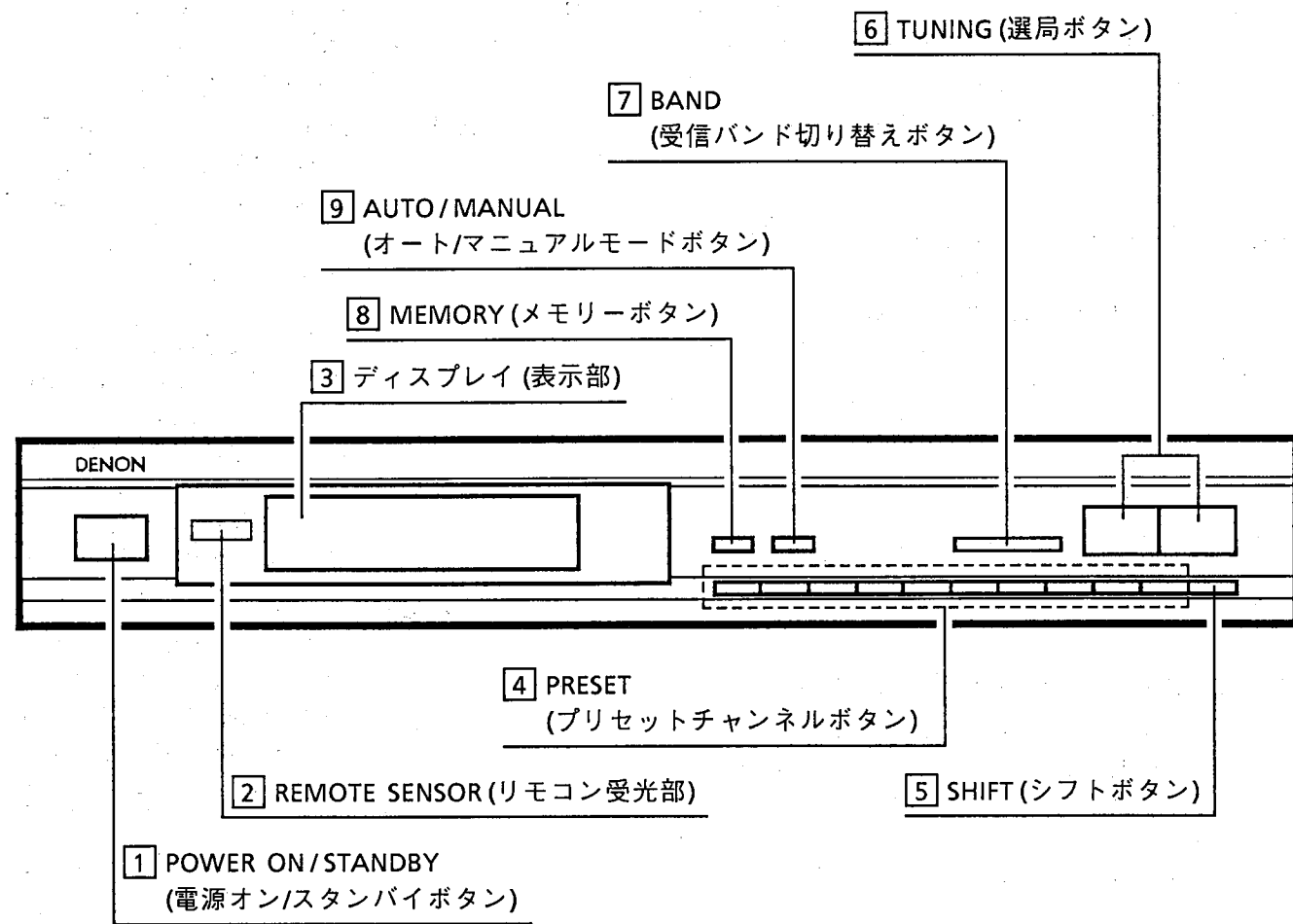
マニュアル選局 : 選局ボタンのUP(またはDOWN)を一回押すごとに受信周波数がFM: 0.1MHz / AM: 9kHzステップで変化します。押し続けると早送りになり、離すと止まります。オート選局で停止しない弱入力レベルの電波を受信するとき使用します。

7 BAND (受信バンド切り替えボタン)

FM/AM(MW)の受信バンド切り替えに使用します。押すごとに交互に切り替わり、表示部の 16 に表示されます。

8 MEMORY (メモリーボタン)

プリセットチャンネルボタンに受信バンドと周波数を記憶させるときに使用します。押すと表示部のCHおよびMEMO表示 14 が約5秒間点滅します。この間に記憶したいチャンネル番号のシフトボタンとプリセットチャンネルボタンを押すと、そのチャンネルに記憶されます。



9 AUTO/MANUAL
(オート/マニュアルモードボタン)

選局、FM/AMステレオモード、FMミュートリングの切り替えに使用します。押すごとに交互に切り替わり、表示部の 12 に表示されます。

AUTO : 選局ボタンは、オート選局になります。FM/AM放送受信時、ステレオ放送のときステレオに、モノラル放送のときモノラルに自動的に切り替わるオートモードになります。FM受信で放送局電波の無いところに生じる雑音(ザーという音)を抑えるミュートリングが動作します。

MANUAL : 選局ボタンは、マニュアル選局になります。FM/AM放送受信時は、ステレオ/モノラル放送にかかわらず、モノラルにする強制モノラルモードになります。FM受信のミュートリングは、オフになります。

このボタンはFM/AMバンドごとに設定でき、各バンドで最後に設定した状態が保持されます。

12 AUTO/MANU
(オート/マニュアルモード表示)

オート/マニュアルモードボタンのモード状態を表示します。

13 SHIFT [A] [B] (シフト [A] [B] 表示)

シフトボタンの設定を表示します。

14 MEMO (メモリー表示)

メモリーボタンを押すと約5秒間点滅し、メモリー(記憶)可能状態であることを表示します。

15 CHANNEL
(プリセットチャンネル番号表示)

シフトボタンおよびプリセットチャンネルボタンで記憶・呼び出しをするプリセットチャンネル番号を表示します。

16 受信バンド/周波数表示

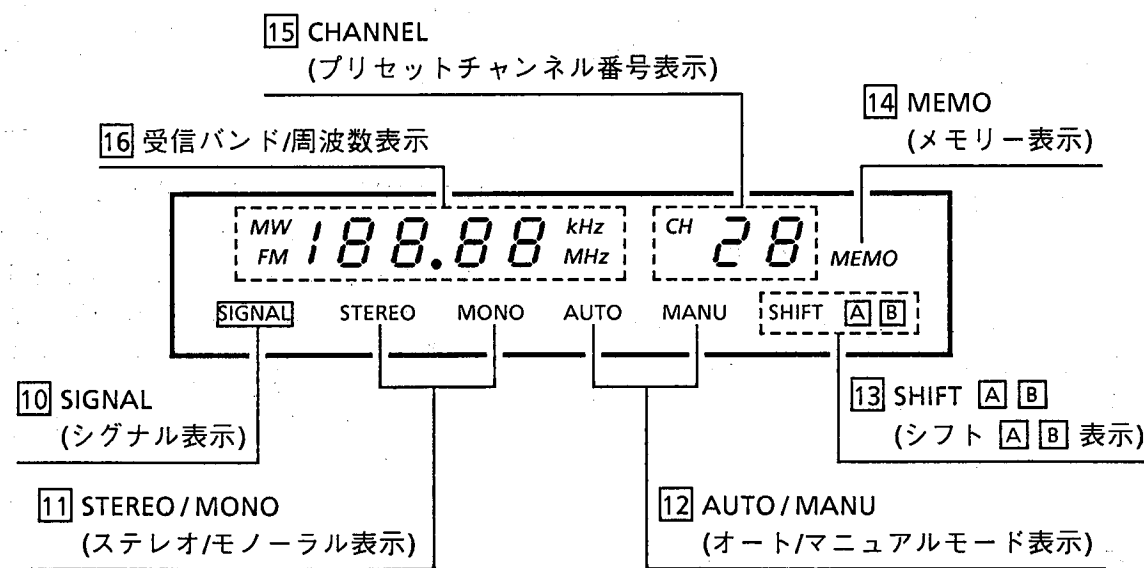
受信バンドと受信周波数を表示します。FMは76.00~90.00MHzまで0.1MHzステップで、AM(表示MW)は522~1629kHzまで9kHzステップで表示します。

10 SIGNAL (シグナル表示)

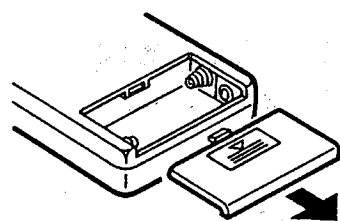
受信周波数の入力レベルが実用入力レベル以上るとき点灯します。

11 STEREO/MONO
(ステレオ/モノラル表示)

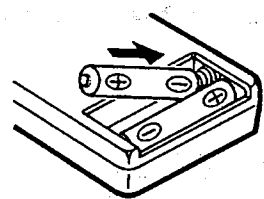
オート/マニュアルモードボタンがAUTOの状態ですtereオ放送を受信したとき、STEREO表示が点灯します。それ以外のモノラル受信では、MONO表示になります。



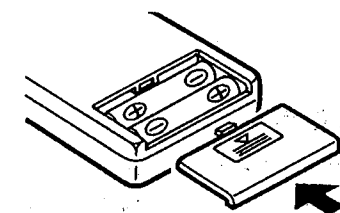
乾電池の入れかた



① リモコンの裏ぶたをはずしてください。



② R03(単4)形乾電池2個をそれぞれ乾電池収納部の表示どおりに入れてください。



③ 裏ぶたを元どおりに取り付けてください。

ご注意

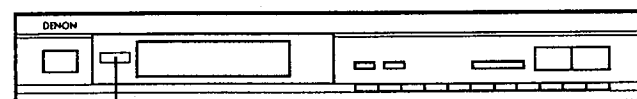
- リモコンには単4乾電池をお使いください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年たっていないくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに、プラス側、マイナス側を合わせて正しく入れてください。
- リモコンを長時間使用されないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 破損、液もれのおそれがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池はショートさせたり、分解や加熱、また火に投入したりしないでください。
- 万一、乾電池の液もれがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

ご注意

- リモコンセンサー部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていたり、リモコンセンサー部との間に障害物があるとリモコンが動作しにくくなります。

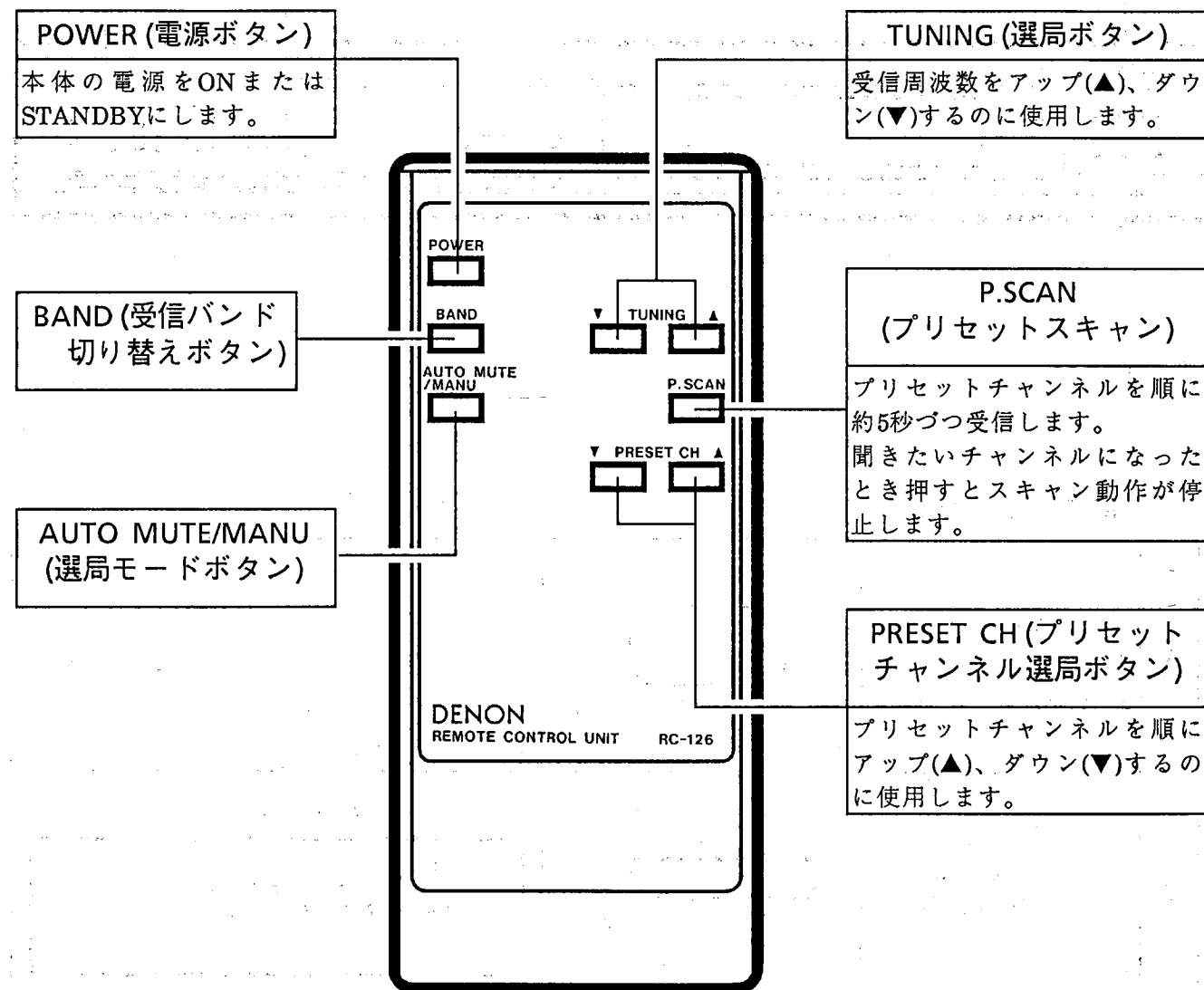
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に押さないでください。誤動作の原因になります。



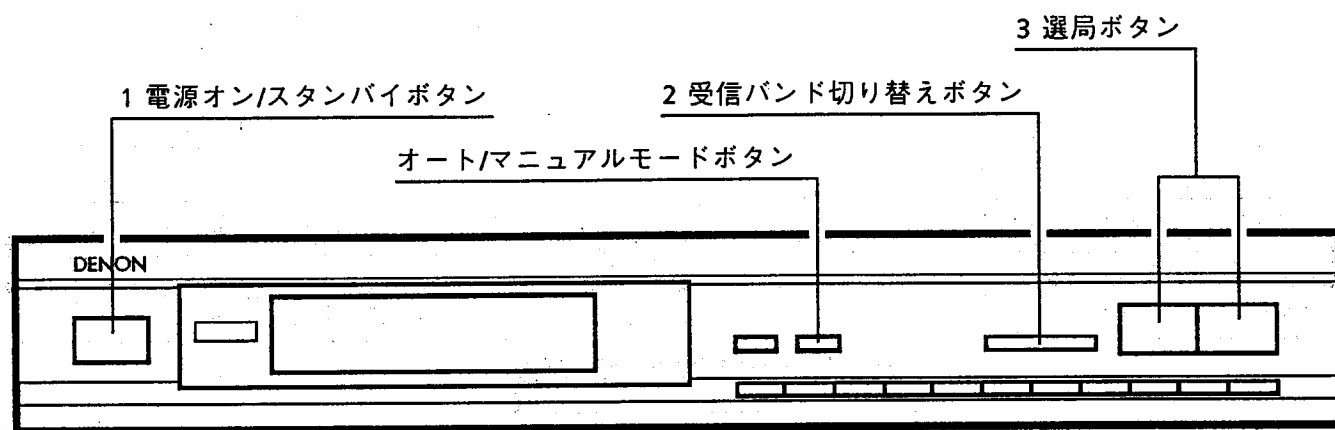
リモコン

- リモコンは、図のようにリモコンセンサー部に向けて使用してください。
- リモコンは、直線距離では約8m離れた所まで使用できますが、障害物があったり光軸の傾きなどがあると受信距離は短くなります。
- 他のリモコンと同時にリモコンの操作をおこなわないでください。誤動作の原因になります。

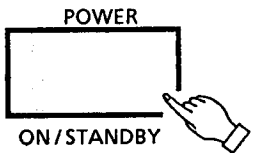
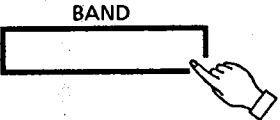
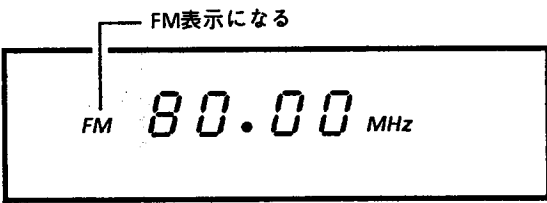
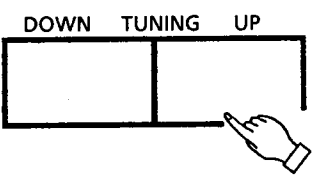
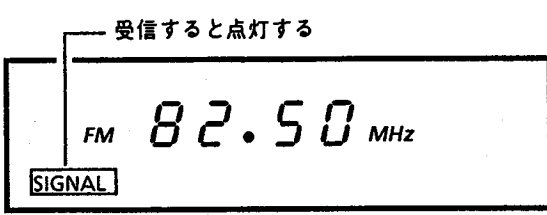
リモコン各部の名称とはたらき



選局のしかた



[例. FM 82.50 MHzに合わせる]

1	電源オン/スタンバイボタンを押す。 表示部が点灯する。		
2	受信バンド切り替えボタン押しFMを選ぶ。		
3	選局ボタンのUP、DOWNで82.50MHzに合わせる。		
リモコンの電源ボタン、受信バンド切り替えボタン、選局ボタンでも可能です。			

オート選局について

- オート/マニュアルモードボタンをAUTOにして選局ボタンを押すと、オート選局となり放送局の電波を受信すると、その周波数で止まります。別の放送を受信したい場合は、さらに選局ボタンを押します。

ご注意

実用入力レベル以下の電波では、(シグナル表示が点灯しない場合)停止しません。また、極端に強い電波や雑音を受信したとき、放送局以外の周波数で停止することがあります。このような場合には、マニュアル選局にしてください。

マニュアル選局について

- オート選局では停止しない弱入力放送局電波を受信しようとするとき、オート/マニュアルモードボタンをMANUALにし、マニュアル選局にしてください。受信バンド/受信周波数表示を見ながら選局ボタンを操作し、希望する放送局の周波数に正確に合わせます。
- 受信後、放送が最も良く聞こえるようにFM/AMアンテナの向き、位置を調節します。

FM/AMステレオ受信について

- 本機は、AMステレオ復調回路を内蔵していますので、AMステレオ放送を受信することができます。
- オート/マニュアルモードボタンがAUTOのとき、ステレオ放送を受信するとSTEREO表示が点灯しステレオ受信になります。AM受信で表示部のシグナル表示が点灯しない弱入力の場合、AMステレオ放送であってもモノラル受信になります。
- アンテナ入力レベルが低くステレオ受信に雑音の多いとき、オート/マニュアルモードボタンをMANUALにし、モノラル受信にします。オート/マニュアルモードボタンは、FM/AMバンドごとにオート/マニュアルの設定ができ、各バンドで最後に設定した状態が保持されます。

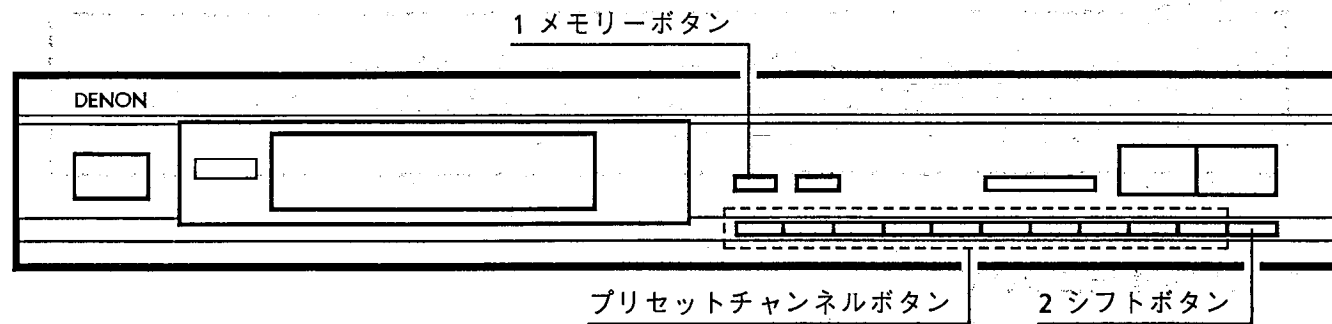
ご注意

- AM放送受信中に、近くでテレビなどを使用すると“ビー”という雑音が入ることがあります。テレビなどからできるだけ離して設置してください。
- 遠方のAMステレオ放送を受信中にフェーディング(数秒~数十秒ごとに電波が強くなったり弱くなったりすること)があるとき、音像の定位が不安定になることがあります。また、夜間などAM放送受信中に遠方局からの混信がある場合、モノラル放送でもSTEREO表示が点灯または、点滅することがあります。このような現象が起きた場合、オート/マニュアルモードボタンをMANUALにしてください。

お願い

- お近くの放送局がAMステレオ放送をおこなっているかどうか、また番組がステレオ放送かについては、新聞の番組表などでお確かめください。

FM/AM放送のプリセットのしかた



[例. 選局したFM 82.50MHzをプリセットチャンネル"3"にプリセットする]

1	メモリーボタンを押す 表示部のCHとMEMO が5秒間点滅する	MEMORY	FM 82.50 MHz CH 0 MEMO 点滅する
2	表示部のCHとMEMO が点滅している間にシ フトボタンを押し表示 をSHIFT [A]にしてプリ セットチャンネルボタ ン"3-13-23"を押す	SHIFT 3-13-23	FM 82.50 MHz CH 3 MEMO CH3が点灯する SHIFT [A] を点灯させる

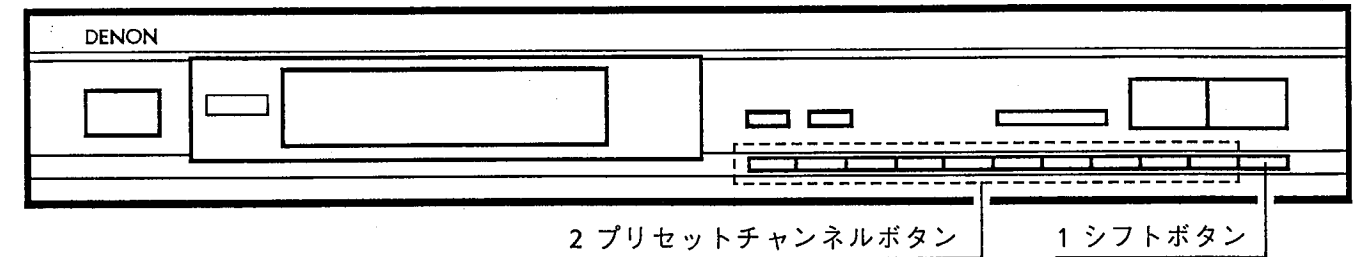
同じようにFM、AMがランダムに30局までプリセットできます。

例えば12局目にプリセットするときには、シフトボタンを押し表示をSHIFT [B]にしてプリセットチャンネルボタン"2-12-22"を押し、23局目は、シフトボタンを押し表示をSHIFT [A] [B]にしてプリセットチャンネルボタン"3-13-23"を押します。

プリセットについて

- プリセットとは、あらかじめ受信したい放送局の周波数をプリセットチャンネルに記憶させておくことです。プリセット後は、受信したい放送局のチャンネル番号を押すだけで受信できます。
- すでにプリセットされているチャンネルに、再度プリセットすると前のデータは消され新しいデータが記憶されます。
- プリセットされたデータは、電源をスタンバイ状態にしても保持されます。
- 電源コードを抜いたり、停電などで一時的に電源が切れてもプリセットされたデータは、すぐには消えませんが、長期間放置しておくと消えてしまいます。消えた場合は、再度プリセットしてください。

プリセットした放送の聞きかた



[例. プリセットチャンネル"3"にプリセットされたFM放送を聞く]

1	シフトボタンを押し表 示のSHIFT [A]を呼び出す 押すたびに SHIFT [A]→[B]→[A] [B] とくり返す	SHIFT	FM 82.50 MHz CH 3 MEMO CH3が点灯する
2	プリセットチャンネル ボタン"3-13-23"を押す	3-13-23	FM 82.50 MHz CH 3 MEMO SHIFT [A] を点灯させる

リモコンのプリセットスキャンボタン、プリセットチャンネル選局ボタンを使用しても可能です。

ラストチャンネルメモリーについて

- 本機は電源をスタンバイにしたとき、オート選局/マニュアル選局/プリセット選局の受信にかかわらず、電源をスタンバイにする直前の受信状態(バンド、周波数、プリセットチャンネル番号、モード設定など)を保持するラストチャンネルメモリー方式になっています。次回電源をオンにした場合、電源をスタンバイにする前の状態になります。

ご注意

プリセットされたデータ保持のため、本機の電源コードは常時通電されている壁の電源コンセントか、アンプなどのUNSWITCHED(非連動)コンセントに接続してください。

故障? と思っても、もう一度確かめてみましょう

- 各接続は正しいですか
- 取扱説明書に従って正しく操作していますか。
- アンプやスピーカーは正しく動作していますか。

セットが正常に動作しないときは、次の表にしたがってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合には、本機の故障とも考えられますのでただちに電源を切り、お買い上げ店または最寄りのコロムビアサービスセンター、営業所または出張所にご連絡ください。

現象	原因	処置	関連ページ
POWERボタンを“ON”にしても電源が入らない	●電源コードの差し込みプラグが、コンセントからはずれている	●プラグをコンセントに正しく差し込む	5
FM放送に“ザー”という音が入る	●アンテナリードの接続が不完全 ●アンテナの方向が悪い ●放送局の電波が弱い	●リードを正しく接続する ●アンテナの方向を変える ●屋外アンテナをつなぐ	6、7
AM放送に“シー”とか“ザー”という雑音が入る	●テレビなどから雑音が入る または放送局の干渉音が聞こえる	●テレビを消す ●ループアンテナの向きを変える ●屋外アンテナをつなぐ	15 6 7
AM放送に“ブーン”という雑音(ハム)が入る	●電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調をうける	●差し込みプラグの方向を逆に差してみる ●屋外アンテナをつなぐ	5 7

11 保証とサービスについて

- この商品には、保証書が添付されております。保証書は、所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- なお、保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げ販売店か、お近くの当社「お客様相談センター」、または営業所、出張所(サービス網一覧表をご参照ください)にご相談ください。

- FM部
 - 受信周波数範囲 76.0~90.0MHz
 - アンテナ端子 75Ω
 - 実用感度 1.2μV/75Ω (12.8dBf)
 - 周波数特性 20Hz~15kHz +0.5, -2.0dB
 - S/N比 ステレオ: 74dB
モノ: 79dB
 - 全高調波ひずみ率 ステレオ: 0.2% (90%変調時)
モノ: 0.1% (100%変調時)
 - ステレオセパレーション 1kHz : 43dB
 - 出力(100%変調時) 0.6V
- AM(MW)部
 - 受信周波数範囲 522~1629kHz
 - AMステレオ放送対応
 - アンテナ ループアンテナ(付属)
 - 実用感度 18μV
 - 出力(30%変調時) 0.15V
- その他
 - 電源 AC100V 50/60Hz
 - 消費電力 6W(電気用品取締法による)
 - 外形寸法 434(幅)×75(高さ)×238(奥行き)mm (端子、フット含む)
 - 重量 2.6kg
- リモコン(RC-126)
 - リモコン方式 赤外線パルス方式
 - 電源 DC3V R03(単4形)乾電池2個使用
 - 外形寸法 58(幅)×125(高さ)×19.5(奥行き)mm
 - 重量 70g(乾電池含む)



- 改良のため仕様および内容を予告なく変更することがあります。本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- 本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。